４Ｉ９ 体育施設をリニューアル

地域海洋センター修繕助成決定書授与式

ブルーシー・アンド・グリーンランド（B&G）財団の地域海洋センター修繕助成決定書授与式が役場で行われ、同財団の大島康雄常務理事から横濱町長に決定書が手渡されました。

町が同財団から修繕助成を受けるのは平成18年度に次いで2回目となり、今回はひび割れが目立つ海洋センター体育館の外壁塗装や暖房機能向上のためのボイラー取り換えなどを9月末までに行います。

授与式で、横濱町長は「町民の健康づくりや青少年の健全育成に、ありがたく使わせていただきます」と感謝の言葉を述べていました。

大島常務理事から決定書を受け取る横濱町長

４Ｉ10 順調な生育に期待

高桑さん宅でメロンの定植開始

高桑雄一郎さん（寧楽）宅で、町内トップを切り、アイボリーメロンの定植作業が始まりました。

高桑さん宅では、昨年5月上旬に発生した霜による被害を受けたことから、今年は10日間遅らせての定植作業開始となりました。

この日は、室温が20度ほどに保たれたビニールハウス内に、アイボリーメロンの苗約1千2百株を丁寧に植えました。

植えられた苗は、毎日温度管理や手入れが行われ、7月上旬頃に出荷される予定です。

町内トップで始まったアイボリーメロンの定植作業

４Ｉ16 元気に戻れと願い込め

幌沖内川でサケ稚魚放流

サケ稚魚放流作業が幌沖内川上流で行われ、新星マリン漁業協同組合、道立水産ふ化場、町職員ら13人が、サケの稚魚70万匹を稚魚中間育成施設へ放流しました。

70万匹の稚魚は、早朝、道立水産ふ化場道北支場から約1時間かけて大型トラック2台で輸送されました。

今年の稚魚は約5センチ前後で、成長具合もばらつきがなく平年並み。今後は、川の水に慣れさせ回帰率を高めるため、約2週間ほどエサを与えて2次飼育され、4月下旬川に放流される予定です。

２週間ほどいけすで２次飼育される稚魚

４Ｉ17 高齢者をサポート

小平地区連合町内会交通安全サポート活動発足

文化交流センターで開かれた小平地区連合町内会長会議で、同地区連合町内会（藤田壽男会長）と小平駐在所（三浦富也所長）が連携し、同地区の65歳以上の高齢者を対象にした「小平地区連合町内会交通安全サポート活動」が発足しました。

町内会と駐在所が連携した高齢者対象の交通安全サポート活動は管内初。全道的にも進んだ取り組みとなります。

今後は、対象者本人や家族からのサポート要請に対して行う安全指導や夜光反射材付き交通安全たすきなどの資材配布のほか、安全講話などの活動も実施する予定です。

活動内容等について議論する出席者